

公益財団法人ひろしまドナーバンク

令和6年度事業実施報告書

(令和 7 年 3 月 3 1 日現在)

令和6年度は、移植医療の啓発分野における活動において、日本臓器移植ネットワークからの予算が減少となり経費削減に努めながら概ね計画通りとなった。中でも令和5年度に広島県で開催した第24回臓器移植推進国民大会における啓発の効果として、移植医療の倫理的側面、実際に提供が行われる過程についてなどを知る機会となり、県内教育機関並びに学生への理解を深めることができ、本年度は多くの出前講座の依頼に結び付いた。また「臓器移植」をテーマとした探究授業への支援を行うことで、学生自らが日本の移植医療の普及の必要性に対して意識を持つ取り組みとなっている。

ほか、献眼数の増加への取組みとして、献眼対応に関する院内体制に関する打合せを実施し、病院救急外来で看取りとなったご遺族へ献眼に関する情報提供を行うことにより提供の承諾件数が増加した。今後、院内に取り組みを拡大させることで、更なる提供者が増えることが期待される。

献眼の推進に関しては、ライオンズクラブが実施する献血等のイベントでの普及啓発に対して献眼パンフレット等の提供を行ったほか、NTTクレドホールで開催された「もうひとつの PEACE STOCK」に献眼ブースを設置し普及啓発を行った。また、アイバンクサポーターの育成、強化のため、日本アイバンク協会認定サポーター講習会を開催し、献眼の連絡や対応について再確認を行い実績に繋がる取り組みを行った。ほか、中国新聞の協力のもと当バンク評議員であった眼科医師の献眼記事、および献眼に関する特集記事への取材、資料提供などの協力を行い、記事掲載直後には献眼登録希望者からの問い合わせがあり対応を行った。

また、コロナ禍により延期、中止となっていた献眼、臓器提供をいただいた御霊を慰霊するための慰霊式を本年2月に開催し、今回から名称を「ひろしまドナー慰霊式」に改称した。さらに、今後の慰霊式案内対象者を4年毎の慰霊式開催期間のドナー、レシピエント並びに案内継続希望者とする改正を行った。

その他、角膜摘出に必要な資材等の一部を広島大学病院から提供いただいていたものを当バンクの経費として購入することとした。

臓器提供・移植医療の推進に関しては、院内移植コーディネーター研修会をウェブ配信により3回実施し、5類型施設のほか心停止後臓器提供が可能な県内施設、更に県外のコーディネーター等へ案内を行い多くの参加を得たほか、県外のバンク等がWeb開催する院内臓器移植コーディネーター向け研修会への参加を促し資質向上に努めた。一般県民への啓発活動としては、10月の普及推進月間に県内図書館や企業の協力のもと普及啓発を行った。更に、昨年に続きグリーンリボンデザイン公募プロジェクトを進め、今回の最優秀デザインはデジタルブックカバーでの配信と印刷した10,000枚を県内の廣文館書店9か所で配布した。

造血幹細胞移植の推進では、骨髄ドナー登録会の開催件数および登録者数は、ほぼ計画通りで実施出来た。また学生ボランティアの新規ドナー説明員資格取得に協力を行った。

具体的な事業としては、次のような活動を行った。

資料1

管理部門

1. 一般寄付金

2, 0 9 8, 7 7 2円

寄 付 者	金 額
ライオンズクラブ 336-C 地区	1, 500, 000
匿名希望	100, 000
広島市医師会チャリティゴルフ	86, 000
小林正夫	50, 000
保久早苗	50, 000
三上正博	50, 000
三嶋弘	50, 000
広銀ボランティア口座 64 件	38, 000
高橋宏明	30, 000
日谷眼科	30, 000
匿名希望	20, 000
福山あいライオンズクラブ	15, 992
八本松病院	14, 780
渡部朋子	12, 000
石井一男	10, 000
熊谷厚志	10, 000
高谷一夫	10, 000
佐藤勢都子	6, 000
木建美幸	5, 000
匿名希望	5, 000
井之川廣江	4, 000
丸岡真美	2, 000
寄 付 合 計	2, 098, 772

○ドナーバンク支援自販機による寄付金

5, 2 7 3, 9 7 3円

設 置 場 所	台数	金 額
広島大学病院 広仁会館、P1 立体駐車場前、霞体育館、中央診療棟、臨床管理棟 3 階、 1 階待合口、2 階待合口、2 階みどりの広場、2 階エレベーター横 整形外科待合前、B F 1 階エスカレーター前	11	2, 238, 088
北部医療センター安佐市民病院	2	481, 297
株式会社福屋	2	305, 281
木村眼科内科病院（1 階ロビー、4 階ロビー）	2	300, 090
中国労災病院	1	220, 897
三次中央病院（救急病棟内・夜間休日出入口・バス停横）	3	207, 836
株式会社ヒロテック（ドーム）	1	169, 941
（医社）仁慈会安田病院	1	164, 081
広島電鉄株式会社	2	127, 060
（公社）広島市身体障害者福祉団体連合会（広島総合リハビリテーションセンター）	1	106, 961
安芸市民病院	1	91, 958
戸田工業株式会社（大竹工場 2、創造センター1）	3	80, 744
J A 広島総合病院	1	71, 454

医療法人仁光会日谷眼科	1	70,000
JA 尾道総合病院	1	65,256
二階堂眼科	1	62,861
株式会社ニシキタクシー	1	57,303
メリーホスピタル（ワタキュー）	1	44,887
広島県医師会館	1	42,005
プルデンシャル生命保険会社福山支社(LC 関係)	2	38,640
広島銀行新本店	1	38,566
広島市医師会	1	35,416
ユニテック工業（株）	1	34,090
サンデン株式会社	1	31,760
有限会社あおぞら（青空マート）	1	26,750
福山松永ライオンズクラブ	1	26,165
医療法人井之川眼科医院	1	24,765
大成建設（MIX・K0）	0	20,636
つまもと眼科	1	18,814
荒木脳神経外科病院	1	17,378
JA 吉田総合病院	1	14,900
べにまんさくの里	1	11,865
学校法人 銀河学院中・高等学校	0	11,654
医療法人 JR 広島病院	1	7,490
梶川病院	1	3,875
安佐医師会	0	1,939
広島県医師会館国民健康保険団体連合会	1	1,270
設置台数・寄付額	53	5,273,973

※コカ・コーラボトラーズからの入金分は半期2回（10月と4月）のため10月以降の実績を含まない。

※設置台数が「0」は年度中に撤去した

2. 募金箱（31施設）

1,191,019円

施設名	金額	施設名	金額
広島県眼科医会	211,500	高陽ニュータウン病院	22,169
森本医院	141,250	しみず眼科医院	21,601
戸田眼科的場医院	115,407	白石医院	20,694
井上眼科医院	57,053	みやた眼科	20,032
藤武眼科	52,993	ひとみ眼科	19,250
木村眼科内科病院	43,935	ひがき眼科	18,712
竹田眼科医院	39,114	高山眼科	17,860
広島臨床眼科セミナー	38,000	はしもと眼科	17,073
井之川眼科医院	36,651	しらね眼科	16,325
やまね眼科	35,734	二階堂眼科	15,803
小島病院	35,270	奈良井眼科	12,455
興生総合病院	30,652	ゆあさ眼科	11,297
山代眼科医院	30,066	たんきょう眼科	10,738
石田眼科医院	28,856	つるが眼科	10,101
阿品土谷病院	28,370	吉田眼科医院	8,166
海田市薬局・岸本眼科	23,892		

3. 賛助会員	2, 435, 000円
法人会員 140口 85団体	(1, 400, 000円)
個人会員 345口 216名	(1, 035, 000円)

事業部門

I. 献眼移植のあっせん事業

1. 角膜提供者の募集及び登録に関する事業（定款第4条第1号）

①例年同様、献眼についての啓発用のポスター、パンフレット及び献眼申込書を広島県、市町、ライオンズクラブ、広島県眼科医会、角膜移植手術実施医療機関等を通じて県民への頒布を依頼し、献眼登録者の確保及び献眼推進運動を展開した。

- ◎献眼ポスター 300部（日本アイバンク協会より）
- ◎献眼パンフレット 20,000部（刷新）
- ◎献眼登録申込書 10,000部（刷新）
- ◎献眼登録者連絡用マグネットシート 作成なし（令和5年度作成分で対応）

②本年度はライオンズクラブ等が実施する献眼推進運動が実施され、送られてきた「献眼登録申込書」について、記載不備などの確認の後、登録後当該申込者に「登録者カード」「献眼登録者連絡用マグネットシート」を送付した。令和6年度の新規登録者は253名と増加したものの、死亡・取消などにより実質46名減となっている。

◆広島県の献眼登録者（令和7年3月末時点） 31, 342名（46名減）

前年度末登録者数	31, 388名
新規登録者数	253名
献眼者数	36名
取消数（転出・死亡等）	263名
3月末登録者数	31, 342名

2. 角膜移植希望者の募集及び登録に関する事業（定款第4条第2号）

角膜移植希望者の募集は、従来どおり角膜移植手術実施医療機関に受付窓口を設置し、登録及び管理業務を行った。

◆広島県の角膜移植希望者（令和7年3月末時点） 64名（64眼）

前年度末手術希望者数	67名（67眼）
新規手術希望者数	41名（41眼）
移植角膜数	43名（43眼）
希望取消数	1名（1眼）
3月末手術希望者数累計	64名（64眼）

3. 摘出角膜のあっせん及び保存に関する事業（定款第4条第4号）

3月末現在までにご提供頂いた角膜は次のとおりで、保存眼等を含み県内2施設、県外2施設にあっせんした。

- ① 献眼数 36名 71眼（保存眼等30眼）
- ② あっせん数 45眼（うち開設以来保存眼4眼利用）
- ③ あっせん先 ア 県内（43）： 広島大学病院 （31）
木村眼科内科病院（12）
イ 県外（2） 島根（1） 福岡（1）

◆全国及び広島県の献眼状況（令和7年3月末時点）

献眼者数	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
全 国	466	505	575	611	620
広 島 県	22	17	22	28	36

4. 献眼・献腎を含め臓器提供者への敬弔

1) 献眼及び献腎等臓器を提供された方に対し感謝状の贈呈を行うとともに、弔電、花輪をお供えして弔意を表明した。また、厚生労働大臣感謝状に供物を添えてご遺族に伝達した。家族葬等によるご遺族の希望により感謝状伝達が出来なかった献眼者については感謝状を郵送で対応した。

○献眼者 36名（厚労大臣感謝状伝達27名、ご辞退1名）

○臓器提供者 2名（厚労大臣感謝状伝達1名）

2) 第9回ひろしまドナー慰霊式の開催

4年毎に開催する「献眼献腎合同慰霊式」がコロナ禍により第8回慰霊式が中止となり、今回の第9回から名称を改称し開催した。

○令和7年2月20日（木） 15時～広仁会館大会議室 総参加者85名

II. 移植医療の推進に関する普及啓発事業

1. 移植医療に関する知識の普及啓発に関する事業（定款第4条第3号）

1) 一般に対する移植医療に関する知識の普及啓発

①献眼推進運動やその他イベント等に対し、啓発パネル、幟の貸出しなどを行った。

◎パネル利用状況 5回

◎角膜のぼり利用状況 4回

◎移植医療（臓器用）のぼり・バナー利用状況 2回

②広島県眼科医会主催の「目の健康講座」への参加（10/27）

③市町等が実施する健康祭りへ参加し、臓器提供・移植に関する啓発活動を行った。

三原市民健康福祉まつり（10/26）、尾道市民健康まつり（11/10）

④マツダZOOMZOOMスタジアムでの移植医療の啓発活動（5/19）

⑤広島県眼科医会が主催する「マスコミ懇話会」に参加（9/5）

⑥グリーンリボンブックカバーデザイン公募企画

県内の中高大学等含む県民へグリーンリボンをテーマとしたブックカバーのデザインを県内の小・中・高校、専門学校、大学、市町、公共機関、企業等へ公募し応募62作品の中から優秀作品1点を表彰し、優秀作品をデジタルブックカバー（A3・A4版）として作成し、また10,000枚を県内の廣文館書店9か所で配布した。

⑦グリーンリボン推進協会主催の講演会での運営・実施協力

○広島市社会福祉会館（8/10）、○広島市健康科学館（12/22）

⑧Mathys Ballet チャリティーコンサート（7/7）への後援、広報協力を行い、臓器移植啓発および骨髄移植啓発等のブース設置協力・資材提供を行った（骨髄バンクユースアンバサダー関係）

⑨もうひとつのPEACE STOCKに参加し、ライオンズクラブの協力を得て献眼ブースを設置し普及啓発を行った。（9/22）

⑩その他の啓発活動

i. ドナーバンク支援自販機を設置していただくことにより、献眼及び臓器移植に関するポスター的な意味合いでの移植医療の普及啓発を行った。（設置台数53台）

ii. マスコミ各社へ移植医療の普及協力の依頼および取材対応を行った。

（中国新聞社・読売新聞社・広島テレビ・広島ホームテレビ・テレビ新広島・中国放送等へ依頼）

11月4日 中国新聞 献眼特集（献眼を広めた医師 ドナーに）

11月13日 中国新聞 献眼特集（近間泰一郎先生、福井英人先生）

iii. ホームページにて移植医療についての情報発信、およびイベント案内や骨髄ドナー登録会日程、医療者向け情報提供などの発信を行った。

2) 啓発用のポスター及びパンフレット、バンクだより等の作成及び配布

公社)日本臓器移植ネットワークのパンフレットを公共施設、関係団体へ配布するとともに、公財)日本アイバンク協会から購入するポスター等を眼科医療機関及びライオンズクラブ等に配布し、県民への啓発に努めた。

- i. 「ひろしまドナーバンクだより」(17,600部)を発刊。
- ii. 移植医療に関する啓発グッズや資料を作成し関係方面に配布
- iii. 骨髄ドナー登録に関するチラシをイベント等で活用して頂くために、データ等の資料を作成し提供を行った。

3) 10月の普及推進月間行事の開催・参加

- ①骨髄バンク普及推進月間にあわせ広島県及び広島市などとともに「イオンモール広島府中」の協力のもと「骨髄パネル展」を開催し最終日に骨髄ドナー登録会を実施した。

○期間：令和6年9月30日(月)～10月6日(日)

場所：イオンモール広島府中 3階 ママトコワークショップ

内容：パネル展、集団登録会(新規登録者27名)

広島県主催の「骨髄バンク推進街頭キャンペーン」への協力

- ②臓器移植普及推進月間にあわせグリーンリボンキャンペーンを企業等の協力を得て普及啓発の実施

○キャンペーンポスター、ドライバーステッカー等の配布や貼付の協力の依頼

グリーンリボンキャンペーン2024 リーフレット10,000枚・ポスター1,000枚作成

協力企業等：広島県タクシー協会(30か所)、広島県バス協会(HP)

県内図書館(14か所 特設展示)、中・高・大学関係、市町、

5類型病院(23か所 特設展示)・提供病院(223か所)、

イズミ(23か所)、イオン(30か所)

○本通り商店街アーケード、福屋広島駅前エールエールA館、宇品大橋でのライトアップの協力

- ③グリーンリボンフェス2024への企画準備およびイベント支援(10/5)

グリーンリボン推進協会に協力するとともに会場での啓発ブースの設置

○移植医療写真展、音楽ライブ等

4) 講師等の派遣を行う出前講座を開催

- ①臓器提供・移植に関する出前講座 18件

○クラーク記念国際高等学校(6/5) ○庄原格致高等学校(6/11)

○呉共済看護専門学校(6/27) ○広島県高等学校保健会北地区研修会(7/23)

○安佐准看護学院(9/17) ○城北中高等学校文化祭(9/21)

○新原香織のお料理教室(9/23) ○井口高等学校(11/3)

○比治山大学(11/7) ○安田女子大学(1/9)

○三次看護専門学校(1/16) ○比治山女子中学校(1/21)

○クラーク記念国際高等学校(1/30、2/5)

○城北中高等学校(2/6) ○皆実高等学校(2/14、2/21)

○広島市医師会看護専門学校(2/18)

- ②骨髄ドナー登録に関する出前講座

○比治山大学(7/10) 参加 104名

5) 厚生労働大臣及び広島県知事が感謝状を贈呈する移植医療に係る功労者の推薦

- i 「臓器移植の普及啓発」(厚生労働大臣)

○福山久松ライオンズクラブ(団体)

ii 「普及啓発活動功労者」 （広島県知事）

○渡部 朋子（骨髄バンクドナー説明員）

2. 献眼・献腎・造血幹細胞移植並びにその他臓器移植の推進に関する事業（定款第4条第7号）

1) 献眼の推進に関する事業

①ライオンズクラブを対象とした「日本アイバンク協会認定サポーター講習会」を開催した。（10/24）

（福山地区）場 所：エフピコアリーナ（福山市総合体育館）

出席者：受講者 36 名+LC 役員 1 名

②角膜摘出協力医に関する研修会（4/13）

場 所：日本アルコンウェットラボ 出席者：受講者 5 名+大学講師ほか 4 名

③広島市民病院救急科における献眼の取組みについての打合せ（4/22、6/26、9/4）

2) 造血幹細胞移植の推進に関する事業

造血幹細胞移植の推進のため、広島県赤十字血液センター、広島県、広島市と患者家族の会「広島つばさの会」「がんの子供を守る会」「広島国際大学骨髄バンク推進委員会しずく」「山陽女子短期大学SRV」「日本赤十字広島看護大学すずらん」などのボランティア団体等と連携し、個別に説明員養成研修会を適宜実施し、説明員の確保と骨髄ドナー登録者の確保事業に取り組んだ。

①骨髄ドナー登録者の確保対策への協力（骨髄ドナー登録会）

②骨髄ドナー登録に関する説明員養成研修会を実施

○山陽女子短期大学（骨髄 5/24）

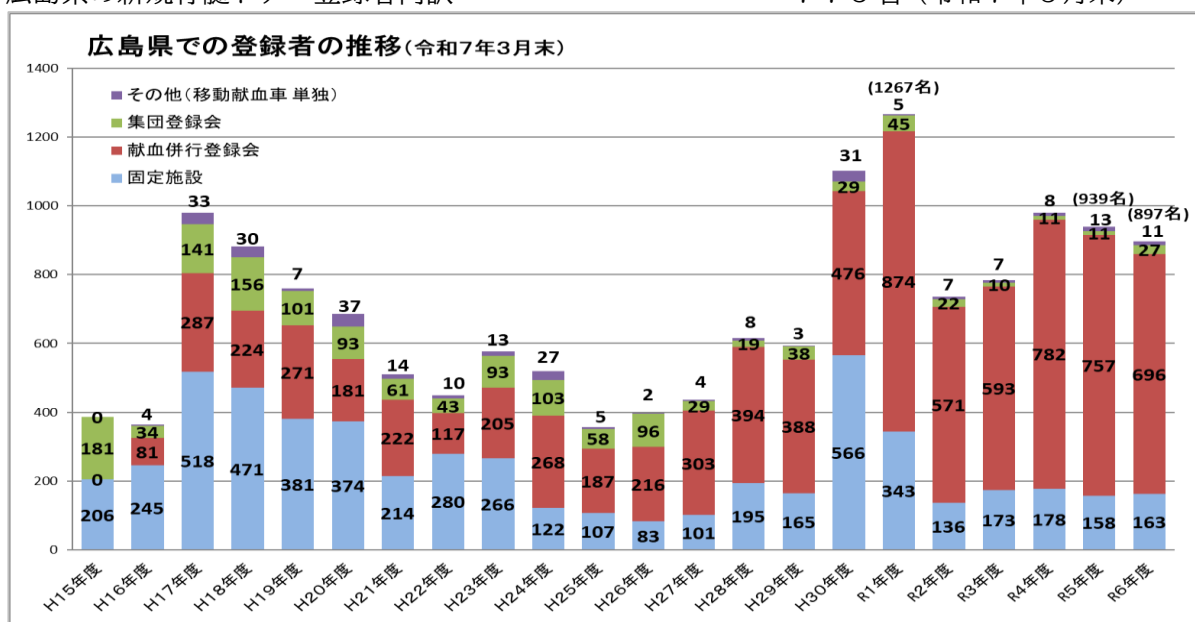
③滋賀県と骨髄ドナー登録推進についての意見交換会（10/31Web）

◆ひろしまドナーバンクが実施した骨髄ドナー登録会の回数と新規登録者数 723名（令和7年3月末）

登 録 会		昨年度実績	本年度
事前説明会	回数	0 回	0 回
	登録者		
集団登録会	回数	1 回	1 回
	登録者	11 名	27 名
献血併行型登録会	回数	113 回	106 回
	登録者	757 名	696 名
合 計	回数	114 回	107 回
	登録者	768 名	723 名

◆広島県の新規骨髄ドナー登録者内訳

775名（令和7年3月末）



◆骨髄ドナー登録者数・移植希望者数・移植者数・提供者数（令和7年3月末現在）

区 分	全国 (広島県)	広島県	
		20～54 歳	人口1万人対比
ド ナ ー 登 録 者 数	562,678 (広島県11,278)	11,185 (全国第15位)	98.7 (全国第27位)
患 者 登 録 者 数	1,723 (国内1,159)	9 (全国第35位)	
骨 髄 移 植 者 数 (財団発足後累計)	29,199	809 (全国第11位)	
骨 髄 提 供 者 数 (財団発足後累計)	29,317	730 (全国第12位)	

注）提供者と移植者との数字の違いは移植に至らなかった件数があるため
人口1万人対比人数は提供できる年齢の20歳以上から計算

Ⅲ. 移植医療推進のための医療施設における院内体制の整備等に関する支援事業

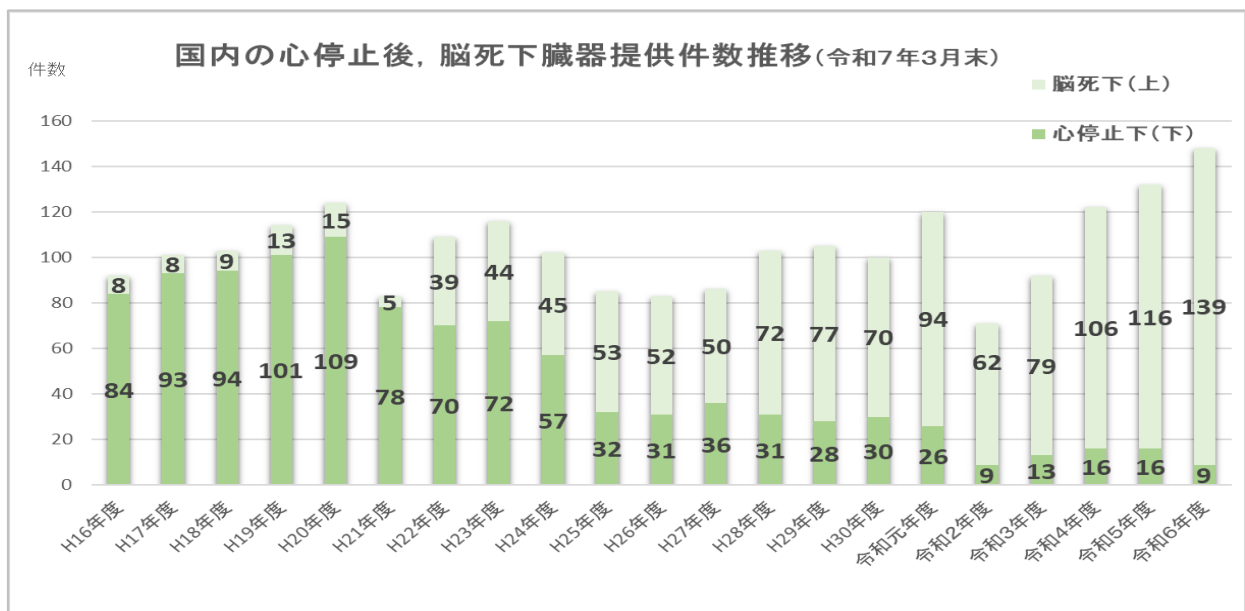
1. 移植医療に関する知識の普及啓発に関する事業（定款第4条第3号）

広島県行政や各病院の院内コーディネーターと共に、密接な連携を図りながら、院内体制整備支援を行い、臓器移植推進に取り組んだ。

◆献腎登録者 8,689名（57名減）

前年度末 登 録 者 数	8,746名
新 規 登 録 者 数	1名
献 腎 者 数	2名
取 消 数（転出・死亡等）	56名
3 月 末 登 録 者 数	8,689名

◆全国の心停止後・脳死下臓器提供の推移（令和7年3月末時点）



*脳死下の内、臓器の提供に至らなかった件数を含む

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
脳死下提供数	全国	94	62	79	106	116	139
	広島	3	0	2	1	3	2
心停止後提供数	全国	26	9	13	16	15	9
	広島	0	1	1	0	1	0

1) 救命救急センターなどの臓器提供施設等への訪問

院内体制整備のため各施設を訪問し、臓器摘出における提供病院内体制整備の支援を行った。(臓器提供マニュアル作成、研修会、臓器提供シミュレーション実施への協力)

①対象施設(院内移植C o 設置施設26施設)

②訪問施設および回数: 14施設 32回

広島市民病院、県立広島病院、広島大学病院、福山市民病院、大田記念病院、J A 広島総合病院、J A 尾道総合病院、尾道市民病院、中国労災病院、呉医療センター、呉共済病院、広島赤十字・原爆病院、荒木脳神経外科病院、北部医療センター安佐市民病院、

2) 臓器提供に関する関係者の連絡協議会等の開催及び参加

①院内コーディネーター研修会(Web開催)

7/3:入室回線101件・参加人数約120名

12/4:入室回線75件・参加人数約80名

2/27:入室回線81件・参加人数約90名

②広島県移植推進委員会(1/29)

③広島大学病院消化器移植外科主催「移植医療の普及啓発を考える in 広島」

医療従事者向け講座への支援・参加(5/19 広仁会館 約40名)

3) 院内コーディネーターとともに院内関係者への啓発活動等

臓器提供発生時の役割等を検討する研修会および臓器提供に係る院内体制整備のための開催及び支援・協力を行った。

○J A 広島総合病院臓器提供委員会(6/26) 約10名

○太田記念病院臓器提供委員会(10/28) 約10名

○荒木脳神経外科病院研修会(11/22) 約20名

○北部医療センター安佐市民病院臓器移植講演会(11/25) 約80名

○広島赤十字・原爆病院臓器提供委員会(2/19) 約20名

○北部医療センター安佐市民病院脳死判定シミュレーション(2/25) 約10名

○広島市民病院小児脳死判定研修会(3/2) 約15名

○J A 尾道総合病院脳死判定シミュレーション(3/8) 約15名

4) コーディネーターの学会・研修会への参加

広島県臓器移植コーディネーターが、(公社)日本臓器移植ネットワーク及び移植学会等が主催するWeb研修会に参加し、最新の移植情報の収集と資質向上に努めた。また、多くの研修会がWeb配信であったため県内の院内コーディネーターに対し参加を促した。

① 日本臓器移植ネットワーク主催

(ア)あっせん事業体制整備事業全国会議(6/7Web参加、2/21東京)

(イ)B級コーディネーター研修会(東京:11/13-15 Web参加)

(ウ)連絡会議(Web参加 4/22、5/1、5/29、6/19、8/23、10/31、12/12)

(エ)あっせん事例対応に関わるipad導入説明会(東京:9/19、2/20)

(オ)あっせん評価委員会(Web参加 9/30、11/25、1/27、3/24)

② 中国四国コーディネーター会議(Web開催)

(主催県=香川県6/4、島根県8/23、愛媛県11/29、広島2/6)

③ 日本移植学会総会(長崎県:9/12-14)

④ 脳死脳蘇生学会総会(東京都:8/31、9/1 Web参加)

⑤ 西日本組織移植C o 研修会・他県主催C o 研修会

(Web参加:4/18、5/16、6/20、7/18、10/17、11/21、12/19)

- ⑥ 移植医療の普及啓発を考える IN 広島（5/19 広仁会館 40 名・Web 併行）
- ⑦ 臓器移植に関するメディアワークショップ（大阪府：10/7 Web 参加）
- ⑧ 藤田医科大学連携構築事業定例会（愛知県：10/1 Web 参加）
- ⑨ AODA あいち臓器提供支援プログラム市民フォーラム（愛知県：10/20 Web 参加）
- ⑩ 千葉県臓器移植セミナー（千葉県：11/19、11/27 Web 参加）
- ⑪ 長崎大学病院連携構築事業意思決定支援講演会（長崎県：11/12 Web 参加）
- ⑫ 厚生労働省検証会議（愛知県：9/30 Web 参加）
- ⑬ ドナーファミリーの集い（大阪府：11/4）
- ⑭ 茨城県臓器提供施設担当者研修会（3/3 Web 参加）
- ⑮ 臓器移植の現状と課題～スペインモデルから学ぶこと～（3/5 Web 参加）

5) 献腎を含めた臓器提供事例が発生した場合の業務

本年度、県内の臓器提供事例は脳死下 2 件、公社)日本臓器移植ネットワークの指示のもと情報収集と臓器搬送等の対応を行った。そのほか提供に至らなかった 8 件の臓器提供情報に対して、情報収集とその対応を行った。

2. 移植医療機関及び摘出協力医との連絡調整に関する事業（定款第 4 条第 5 号）

広島県臓器移植コーディネーター、骨髄説明員及び事務職員が個別に移植医療機関或いは摘出協力医等との連絡調整を行った。

- ① 献眼の推進に関する打合せ
- ② 臓器移植推進の一般啓発に関する打ち合わせ
- ③ 臓器提供施設への移植医療推進のための打合せ
- ④ 骨髄ドナー登録に関する打合せ
- ⑤ 臓器搬送（警察、消防、空港、広島県）に関する打合せ